

議会報告会会議録

|        |   |
|--------|---|
| 1 開会日  | 平成30年5月13日(日) 午後3時00分 開会<br>午後4時30分 閉会  |
| 2 場 所  | 保健センター 2階 研修室   |
| 3 出席議員 | 関 威國議長 (開会あいさつ)<br>竹内恵美子副議長 (閉会あいさつ)<br>三澤龍夫議員 (司会進行)<br>清田文雄議員 (平成30年度予算の主な審査内容について)<br>奥津勝子議員 ( " )<br>全議員 (参加者との意見交換)<br>片野哲生議員 (記 録)<br>渡辺順子議員 ( " )<br>二宮加寿子議員 (会場受付)<br>玉虫志保実議員 ( " )<br>鈴木京子議員 (マイク設置等)<br>高橋英俊議員 (写真撮影)<br>渡辺順子議員 (パワーポイント操作) |
| 4 参加者  | 17人   |
| 5 報告事項 | (1) 平成30年度予算の主な審査内容について<br>(2) 参加者との意見交換  |

議長あいさつ、議員自己紹介の後、報告担当議員から予算審査についてパワーポイントを使い報告。その後、参加者との質疑応答、意見交換を実施した。

(1) あいさつ・・・関議長

平成 21 年 11 月 1 日に施行した「大磯町議会基本条例」の規程に基づき行っている議会報告会も 15 回目を迎えた。今回は平成 30 年度予算の審査における議論の経過・結果を報告する。

その後、少人数に分かれて意見交換を行う。日ごろ皆様が感じている身近な話題を一緒に話し合えればと考えているが、誹謗中傷、個人的な話はお受けできない。議会報告会は、議員個人の意見を申し上げる場ではない。内容によっては町の答弁が必要なものも出てくるが、この場で町に替わって答弁するものではない点を御了解いただきたい。町に対する御意見は、後日、町にお伝えする。皆様からいただいた御意見、御要望は今後の政策提言に繋げていきたい。

(2) 平成 30 年度予算の主な審査内容報告

・・・清田文雄議員、奥津勝子議員

『議会だよりおおいそ』第 191 号及び議会報告会資料に基づき、平成 30 年度予算に対する予算特別委員会及び本会議における主な審議内容等を報告。

◎主な質疑・意見

問： 重点 6 事業の農業に関する 9,800 万円の予算はどのようなか。

答： 農業振興普及事業、農地活用・鳥獣対策事業など全ての農業関連費用が含まれている。

問： 明治記念大磯邸園事業関連の 640 万円について、「なんでも鑑定団」と明治記念大磯邸園との関連性は。

答： テレビ番組の収録に係る大磯プリンスホテルの会場使用料と講座開催などの関連事業費である。町民が明治改元 150 年関連のお宝を持っているとの考えから町が開催するもの。

意： 大磯駅周辺安全・安心にぎわい創出事業について、A 案、C 案とも観光客に対しての考え方であり、町民に対する考え方に欠けている。

答： 検討委員会で A 案と C 案に絞り、今年度は各関係者で協議を進めるもの。今年度予算の計上はない。

問： 重点 6 事業の農業について、前年度の予算とどう変わったのか。荒廃農地活用補助金 12 万円だけか。目的と対象者は大きいのに、予算が 12 万円とは如何なものか。

答： 町内在住の新規就農者や農地の規模拡大を希望する農家に補助するもの。長い間、放置された畑を再生し、作物を育てるには費用と労力がかかる。今

後も補助希望者が増えることを期待している。

問： 大磯駅周辺安全・安心にぎわい創出事業について、JR所有の駅前用地を買い取るのか。約4億2千万円と言われる費用は、何のために必要なのか。駅前を再整備しなくてはならない理由は。再整備の目的がわからない。

答： A案、C案とも今後、関係機関で協議がされるもの。今年度の予算も計上はない。駅前広場関係の全体計画も整っていない。概算予算についても具体的にはなっていない。議会としても全体像は見えていない。駐輪場跡地の3案についても具体的になっていない。町民の方からも事業の説明等を町に求める要望が出されている。

意： 大磯駅周辺安全・安心にぎわい創出事業について、駅前の再整備は、議会として決定していることなのか。町民の意見を聞いてほしい。町民が「どうしたい」というところから始めてほしい。既に話が進んでいるように聞こえる。町民にとっては大きな問題である。

答： 皆さんのご意見はもつともである。町民の方々に広く周知するべきである。住民自治の観点から、広く町民の意見を取り入れて事業を進めるよう町に伝える。

意： 大磯駅周辺安全・安心にぎわい創出事業について、雨の日などは車を駐車する場所が無い状況である。A案もC案も現状より駐車する場所が無くなる。町民の利便性を考えて議論してほしい。

答： 町民のことを考えて計画を練るよという声が多かったと町に伝える。

意： 平成30年度予算は誰がいつ組んだのか。駅前、みなとオアシスの審議についても議会の進め方に納得ができない。町長の説明に議会の反対がない。町の事業にはコンサルタントが入ることが多い。調査費には1～2千万円のお金が払えるのに給食には手が付けられないことが理解できない。

答： 町（執行者である町長）が予算を組み、議会が審査する。大磯町だけでなく地方自治体は同様な手続きである。議員それぞれが委員会や定例議会で意見や考えを述べている。予算審議に対する議員の賛否も分かれている。

意： 平成30年度予算について、議会として町から出された予算を吟味してほしい。大磯町自治基本条例第26条の行政評価について、町長はレビューを行い公表しているのか。予算を組む際にレビューがされていない。大磯町の弱さはそこにある。議員の一般質問などで時間切れになる場面があったが、町長に対する追及が甘いと感じる。中学校給食に関する行政評価がなされていない。町の行政評価が怠慢であり、それを追求しない議会もおかしい。恒道会の問題も同様に町の行政評価が甘い。大磯町はレビューが甘いので同じことを繰り返している。だから発展しない。町長に条例違反だと言い、リコールをしても構わない。議会の追及が中途半端である。的確に追及し、町長にレビューをやらせることが大事である。町が良くなならない。残念である。

答： 町では事務事業評価を実施している。議会でも事務事業評価シートを基に決算特別委員会で質疑をしている。事務事業評価は町民情報コーナーや町ホームページで公表している。職員は事務事業評価を参考に予算編成を行っている。情報公開は基本であり、自治基本条例でもうたっている。議会としてもきちんと審査をしていきたいと考えている。

意： 平成 30 年度予算について、議会としての町長に対する追及の甘さを反省してほしい。

答： 決算特別委員会などを通して、町に改善などの意見を言っている。

意： 町のホームページは見にくい。見たいものを探しづらい。わかりにくい。

答： 町にもっとわかりやすいホームページとするように伝える。

問： 平成 30 年度予算について、中学校給食は、どのような事業評価をされて、今年度予算の中学校給食調査委託料を議会として承認されたのか。

答： この件については、平成 29 年度決算において示される。中学校給食の方向性を 12 月までに決めると町は言っていたが、中学校給食の懇話会の要望を受け、給食方式の選択を行うための費用や可能性を探る調査を行い、方向性を出したいとのことから委託料を承認した。

意： 平成 30 年度予算について、議会だよりに「議案に対する各議員の賛否結果一覧表」の掲載があり、「平成 30 年度大磯町一般会計予算」に誰が賛成し、誰が賛成していないかがわかる。中学校給食の調査委託料に 1,080 万円を使うということは、町民にとっては理解しがたい。何かを作る、何かの事業を実施するというのであれば理解できるが、みなとオアシスなどでコンサルタント料として高い金額を使う。無駄使いが多いと感じる。「税金高い、職員多い」というチラシが配布されたと思う。税金は法律で決まっている筈である。町としては看過できない筈である。町は何か対処しているのか。

答： おっしゃるとおり大磯町の税金だけが高いということはある得ない。チラシは初めて見た。

問： 大磯港みなとオアシス推進事業について、指定管理者の候補者が 1 社しかなく、選定結果のとおり決まるのか。1 社しか手を挙げないものが、果たして事業性があるのか。中学校給食とダブルところがある。施設の建設にもお金がかかる。施設を造っても誰も利用しないのではないかとこのことを議会として考えているのか。

答： 2 社の応募があったが、そのうち 1 社が審査を辞退した。残った 1 社の審査を行い、大磯町指定管理者候補者選定等委員会が候補者を決定した。平成 30 年 6 月議会定例会に「指定管理者の指定について」という議案が上程され議会で審査をする。

意： 大磯港みなとオアシス推進事業について、みなとまちづくり協議会の講演会で教授がみなとオアシス事業の推進を薦めていたが、大磯町は国道 134 号

線のバイパスで海と陸が分断されている。昔あった磯は爆破され、海の自然が破壊された。真鶴、葉山など他の地域にある海の自然がないところが弱点である。自然は元に戻らない。神奈川県に事業費を請求すべき。みなとオアシス事業の成果は厳しいものになるだろう。もう一度見直しをした方が良いのではないか。

意： 大磯港みなとオアシス推進事業について、大磯の「加計学園」問題である。1社しか審査しないものを議会が認めるということは、事業者と組んでいるとしか考えられない。

意： 明治150年関連事業について、昨日の都市計画懇談会に出席した。大磯から10～20億円単位の金が出て行く。もっとでかい金額が町から国に持って行かれる。議会がしっかりしなければいけない。

意： 大磯港みなとオアシス推進事業について、指定管理者の選定委員会を傍聴した。プレゼンは1社しかできないように仕組まれていた。聞くところによると町長は自民党本部に行って、誰か事業者を紹介してくれと言って、群馬県の社長を紹介されたということである。本当に町民のことを思って、どういう施設を作るべきか、その事業者は考えていない。

意： 平成30年度予算について、予算特別委員会を傍聴した。予算執行後の評価の尺が定まっていないために、議会の追及もできない。仕事の仕方、事業等の達成度をどのように評価するのか。物差しがないのに計ることはできない。このようなやり方を続けていては成長しない。民間では当たり前に行っているが行政では上手くいかない。このことは町長にも文書で出したが返事がなかった。

#### (4) 閉 会

---

---